

〔撮壤集〕中鳥芋クワイ

〔易林本節用集〕草久クワイ鳥芋クワイ

〔朱氏談綺〕菜蔬クワイ華薺クワイ一名地栗クワイ、薺クワイ

〔和爾雅〕果クワイ薺クワイ鳥芋クワイ者名クワイ薺クワイ薺クワイ皮紫肉軟者名クワイ薺クワイ、

〔書言字考節用集〕生植クワイ鳥芋クワイ其根散生鳥芋有莖無葉其根下生

〔東雅〕穀クワイ澤寫クワイナマキ 鳥芋クワキ 倭名鈔に澤寫一名芒芋ナマキといふ鳥芋はクワキ生水

中澤寫の類也と註せりナマキといひクワキといふ義不詳クワキなり二物並に芋の名ありて倭名鈔

に亦芋類に收載せし即此也ナマといふは生也クワといふは葉をひらけたるに鋏のかたに似

たる故也頭整の飾に鋏形といふものを古俗相傳へてナマダカといふものは慈姑

此義なる也後俗澤寫の字讀てヲモダカといふは然るべからずヲモダカといふものは慈姑

草也澤寫には異なるものなり古俗ナモダカと云ひしもの今俗にシロクワキといふなりシロ

草クワキ而小煮之可啖といふものは是也それをシロクワキといふは倭名鈔にみえし鳥芋クワキ彼俗に薺クワキ箭搭

花開くなり慈姑の如くにして深藍色の花を開きぬるも雨久花などいふなり

〔農業全書〕山野菜鳥芋

鳥芋薺臍地栗とも云農政全書に云正月に種子をとる芽を生ずる時土がめなどに土をませて

入置二三月になり水田にうつし扱芽さかへて後分ちうゆべし冬春ほり取て菓子とし生にて

も食ひ煮ても食ふ唐にては多く作りて凶年には糧とすると見えたり津の國河内邊に多く作

る物なり

〔雍州府志〕土産鳥芋 黑白俱和惠之中其白者味爲佳鳥芋亦其味淡脆而堪食共賣京師

〔宜禁本草〕乾鳥芋 苦甘微寒色黒名薺名苗似龍鬚而細正青色根黒如指大皮厚有毛小

瘵熱多食患脚氣有冷氣人不可食腹脹滿與驢同食筋急除胸熱黃疸益氣下丹石